

小児救急の基本

「子どもは苦手」を克服しよう！

熱が下がらない、頭をぶつけた、泣き止まない、保護者への説明どうする？
など、あらゆる「困った」の答えがみつかる！

序	3 (2875)
Color Atlas	9 (2881)
執筆者一覧	12 (2884)

第1章 総論：小児救急の基本

1. ER医から見た小児救急とは…林 寛之 14 (2886)
1. 小児救急の鉄則その①：患者は2人いると心せよ（患児と保護者） 2. 小児救急の鉄則その②：子どもはパッと（PAT）見て、元気かどうかを見極めよ 3. 小児救急の鉄則その③：サイズの違いは大違い 4. 小児救急の鉄則その④：小児特有の病態を知るべし ● Advanced Lecture：1. 保護者に説明をする際にはなるべく平易な言葉を使う 2. BRUE
2. 米國小児救急専門医から見た小児救急とは…井上信明 19 (2891)
1. 時間外診療・小児集中治療とはここが違う！ 2. 一般救急（ER）医とはここが違う！
3. ラポール形成児玉和彦 23 (2895)
1. ラポールとは 2. 成人との違い 3. まずはどう動く？ 4. 診察中のラポール形成のコツ 5. 患者への説明 6. コミュニケーションスキルをどう使うか
4. 病歴のとり方茂木恒俊 29 (2901)
1. 保護者の話に耳を傾ける（話しやすい雰囲気をつくる） 2. 子どもに聞こう 3. 正確な痛みを訴えられるようになる年齢を意識する 4. 母子健康手帳は病歴の宝庫 5. 学童期・思春期の病歴聴取について
5. 身体診察のしかた伊原崇晃 34 (2906)
1. 小児患者の特徴 2. 小児患者の診察の難しさ 3. 学び方
6. 乳児の診かた木村武司 39 (2911)
1. 診察前・診察中にチェックすべきこと 2. 診察時のポイント ● Advanced Lecture：急性中耳炎

7. 手技

- 末梢静脈路, 骨髄路, 腰椎穿刺, プレパレーション含む多賀谷貴史 46 (2918)
1. 末梢静脈路確保 2. 骨髄路確保 3. 腰椎穿刺 ● Advanced Lecture : プレパレーション

8. 輸液, 経口補水療法.....松井 鋭 56 (2928)

1. 補充輸液について 2. 維持輸液について 3. 経口補水療法について ● Advanced Lecture :
1. 低張性脱水と高張性脱水について 2. SIADHとCSWS

9. 救急外来での超音波

- 明日から使える小児超音波のコツ竹井寛和 68 (2940)
1. EUSの心得3か条 2. 基本の走査方法 3. 小児患者へのコツ 4. 超音波検査の実際① 5. 超音波検査の実際②

10. 鎮痛・鎮静朱田博聖 78 (2950)

1. 鎮痛 2. 安全な鎮痛・鎮静のための準備 3. 鎮静前患者評価 4. 鎮静 5. 鎮静の深さ 6. 鎮静後患者評価

11. 虐待.....小橋孝介 85 (2957)

1. 虐待の定義 2. どんなとき虐待を疑うのか? 3. 客観的な情報収集 4. どのように対応するのか?

12. 薬剤の使い方

- 抗菌薬を中心に手塚宜行 91 (2963)
1. 小児に「使える」内服抗菌薬 2. 「小児」に使える内服抗菌薬 3. 救急外来での内服抗菌薬処方の実際 4. 救急外来で「使える」静注抗菌薬と処方の実際

13. 小児救急医学の勉強のしかた萩原佑亮 98 (2970)

1. 今すぐ欲しい知識 2. 小児救急医学の文献 3. 具体的な日々の勉強のしかた

第2章 緊急度の評価

1. PALSの概念, そして, PALSの先へ鉄原健一 103 (2975)

1. PALSの流れ: 緊急度と重症度 2. PALSの問題点?: PALSは実臨床では使えない?

2. バイタルサイン鉄原健一 112 (2984)

1. 呼吸数: 5-breaths 10-beats法で簡単に測定 2. 心拍数: 頻拍を安易に発熱, 啼泣のせいにしていない 3. 血圧: 測定が大変だけど, いつ測定する? 4. 体温: 発熱は呼吸数, 心拍数に関係するが, 発熱のせいか考える

3. A(気道)の評価と管理.....大杉浩一 118 (2990)

1. 実際の流れ 2. 小児の呼吸障害を認識する ● Advanced Lecture : 1. 気管チューブに関するトラブルシュート〜「DOPE」で確認〜 2. 気管切開チューブの扱いのポイント

4. B(呼吸)の評価と管理.....野澤正寛 127 (2999)

1. 呼吸障害の評価の順番 2. 生理学的評価と重症度 3. 呼吸窮迫・不全の管理 4. タイプの判定と介入 5. 小児の呼吸評価のコツ ● Advanced Lecture : 1. 酸素化のための戦略 2. 酸素投与・換気デバイス選択

5. C（循環）の評価と管理……………後藤 保 134 (3006)
1. ショックの病態 2. ショックの分類 3. ショックの評価と管理 ● Advanced Lecture：1. 酸素需要 2. 酸素供給
6. D（神経）の評価と管理……………小山泰明 142 (3014)
1. 保護者をうまく味方につけよう 2. 年齢にあったコミュニケーションをしよう 3. 神経学的評価（AVPU, GCS） 4. 管理 ● Advanced Lecture：新生児や乳児の神経学的所見

第3章 よく出会う小児の症候

1. 発熱……………手塚直行 149 (3021)
1. 敗血症 2. 全身状態の評価 3. 年齢とマネジメントの実際 4. 発熱児の保護者への説明 5. 解熱剤の使い方
2. けいれん ……………富田慶一, 植松悟子 156 (3028)
1. まずはどう動く？ 2. 成人と同じところ・違うところ 3. 保護者への説明 ● Advanced Lecture：“急性症候性けいれん重積”を逃さないための鎮痙後のマネジメント
3. 咳嗽……………廣瀬陽介 163 (3035)
1. 診察前から頭に入れておく情報 2. 診察して得る情報 3. 頻用される検査 4. 治療の考え方
4. 喘鳴……………武石大輔 168 (3040)
1. 初発の喘鳴 2. 喘息発作の治療 ● Advanced Lecture
5. 腹痛
機能的便秘症を中心に ……………土肥直樹 177 (3049)
1. 腹痛で頻度の高い症例 2. 小児の便秘への年齢別アプローチ ● Advanced Lecture：must rule out疾患を中心に解説する
6. 嘔吐……………原田 拓 182 (3054)
1. まずはどう動く？ 2. 成人と同じところ違うところ 3. 嘔吐への対応
7. 発疹……………児玉和彦 188 (3060)
1. まずはどう動く!?：トリアージすべき発疹 2. 成人との違い：小児の発疹診断のキモ 3. 発疹の記載方法 4. よくある発疹の見分け方 5. 症例クイズに挑戦！
8. 不機嫌な乳児 ……………石川祥一朗, 伊藤友弥 196 (3068)
1. 不機嫌の鑑別診断 2. 診断へのアプローチ 3. 家族への声かけ 4. 不機嫌の具体的な原因
9. 電解質異常
低ナトリウム血症 ……………黒澤寛史 204 (3076)
1. 低ナトリウム血症を伴う脱水 2. SIADHを合併した髄膜炎 3. まずはどう動く？ 4. 成人と違うところ 5. 保護者への説明

第4章 よく出会う小児の外傷

1. 外傷の評価の違い

虐待，小児の外傷の特徴含む林 卓郎 212 (3084)

第1印象～primary survey primary survey：A. 気道閉塞の評価と開通保持＋頸椎保護 B. 呼吸・換気の評価＋致死的な胸部外傷に対する処置 C. 循環の評価・安定化＋出血のコントロール D. 中枢神経障害の評価 E. 脱衣・体温管理 secondary survey 外傷診療の留意点

2. 頭部外傷松岡由典 231 (3103)

1. まずはどう動く？ 2. 軽症頭部外傷への対応 3. 保護者への説明 ● Advanced Lecture：小児の頭部外傷ではAHTを看過してはならない

3. 創傷のみかた（縫合含む）

なるほど，次からそうしよう！と思える創傷のみかた舩越 拓 238 (3110)

1. 処置前 2. 処置 3. 処置後 ● Advanced Lecture：創傷治癒の基礎知識～病態生理の視点から～

4. 小児の骨折辻 聡 247 (3119)

1. よくある疾患①：肘内障 2. よくある疾患②：鎖骨骨折 3. よくある疾患③：橈骨遠位端骨折・顳上骨折

5. 小児熱傷光銭大裕 253 (3125)

1. 気道熱傷 2. 熱傷の評価

6. 医療機関を受診した子どもの事故予防林 幸子 260 (3132)

1. 子どもの事故 2. 子どもの事故予防 3. 事故予防のアプローチ

● 索引 265 (3137)